



# 交野おりひめ大学通信



一人じゃ出来ないことを、10人で、50人で、100人で!

令和6年12月号

12月の花 ツバキ

KATANO ORIHIME University

## 交野おりひめ大学

- そば学科
- おさげ学科
- デザイン学科
- クラフトビール部
- 交野伝説学科
- カフェ部
- 酒づくりの会
- かたのキャンヴァス
- KATANOホイスコーレ準備室

### 『交野伝説学科』 酒森に 初ブース出展!

先月の酒森フェスでは、『交野伝説学科』が初のブース出展を果たしました。出展の様子や、交野伝説学科の活動の様子を、リーダーの谷さんにお聞きしました。

絶好の行楽日和に恵まれた先日の酒森、自然溢れるロケーションのなか、美味しいビールや日本酒をいただきながらのブース出展は、とても魅力的なものでした。

当日は、少なめの資料で展示を行いました。酒森に「日尊(ニギハヤヒ)」に関する資料の販売や、中村中尉に関する紙芝居を、メインステージで披露させていただきました。

『饒速日尊とは?』と、素朴に質問があったり、饒速日尊に興味のある方々が足を止め資料を購入してくださったり、今後勉強会にもぜひ参加したいと言われる方もいらつしやり、とても感動しました。



展示ブースでの一コマ+交野新聞編集長と

さて、交野伝説学科は昨年未だに発足し、はや一年が経ちました。毎月恒例の定例会では、テーマを決めて交代で担当し、研究発表を中心に活動してきました。学科メンバーには、交野

古文化同好会、星のまち観光協会、交野裏歴史探検隊、日本名城めぐり愛好者、おりひめ大学の他学科生など幅広く個性的な方々が所属しているのも、発表後のひとは雑談も深みがあり、毎回とても楽しい空間です。

交野は、素晴らしい歴史ロマンに溢れた土地です。はるか古代から伝承された数々の伝説、大和の国家成立の原点ともされる天孫降臨神話、徳川家康と星田のかかわり、戦国時代に織田信長も立ち寄ったといわれる私部城跡等が、語り継がれています。

記念すべき第一回の発表は、警船神社に伝わる天孫降臨神話(てんそんこうりんしんわ)でした。

みなさんは、この神話ご存知ですか?  
天照大御神(アマテラスオオミカミ)の命によつて天孫した「天照国照彦火明彥玉饒速日尊(アマテルクニテルヒコ)アマノホアカリクシタマノニギハヤヒノミコト)が十種神宝(とくさのかんだから)を預かり、河内の河上峠ヶ峯(いかるがみね)に降り下り、大和でナガスネヒコを従え後に東征してきたイワレヒコ(後の神武天皇)に大和を託すことになる話です。

饒速日尊の末裔は後に物部氏と名乗り、交野では交野物部氏として、古代よりこの地域を開拓してきたと伝わります。当地警船神社は、交野物部氏を氏神として、全国から多くの饒速日尊ファンが参拝に訪れています。

自ら、「ミスター饒速日尊」と名乗るメンバーも学科にいて(笑)、毎回深い研究資料を発表され発言されています。

これまでの発表のテーマは  
○日本名城巡り  
○中村中尉(終戦直前星田

上空で追撃戦死)の紙芝居  
○聖徳太子と物部氏の考察  
○家康と星田のかかわり夏の陣と新宮山  
○「秦氏と渡来人と交野」などです。

また10月には、交野の史跡、特に警船神社を案内してほしいと、東京から饒速日尊や七夕伝説に関連する史跡ガイドの依頼がきて、リーダー3人が同行し星田神社妙見宮、警船神社(岩壁巡り)、機物神社から教育文化会館、大門酒造(むくね亭)へご案内し、大変喜んでいただきました。交野の誇るべき史跡人気、饒速日尊ブームを実感しました。

来年度からはメンバー一同、さらに研究と活動を深めると共に、交野市にまつわる交野の伝説を、市民や隣市の方々に面白く広めていけたらと思っています。

交野市の深くマニアックな歴史に興味、関心のある方々の見学、参加を心よりお待ちしております。

今月は、12月18日(水)17時30分~21時「ゆうゆうセンター学びの部屋」にて、忘年会を企画しています。今年の振り返りと、来年度からの企画や展開を出し合えたらと思っています! 初めての方も交野伝説学科に興味のある方、よかつたらぜひ参加ください。お待ちしております!ね。



機物神社前で学科生のメンバーと